

春ブロッコリー

やさいの里営農センター 営農指導員 小関 和彦



農業

テクニカルダイアリー



トウモロコシ

やさいの里営農センター 営農指導担当 三枝 魁斗



写真③ 黒すす病(葉の病斑)

病原菌はカビの一種で、前年の被害残渣や種子で越冬伝染します。気温25℃前後の時、降雨と強風により多発します。被害が出た圃場での連作は避け、アブラナ科以外の品目で輪作を行うようにしてください。また、多湿条件下で病気が多発するため、明渠の設置やトンネル換気

黒すす病

春ブロッコリーの収穫量は、排水の良い畑を選定すること、生育期間中の病気の防除が大きなポイントとなります。特に黒すす病、黒腐病の防除が必要です。薬剤は表②を参考にしてください。



写真④ 黒すす病(初期病斑)

黒すす病と似た病害の「黒腐病」は、低温、多湿により発生す

黒腐病

出蕾前に葉に病斑が発生すると、花蕾へ病斑が進展する可能性があります。葉の発病を抑えるよう、殺菌剤での予防散布を心掛けましょう。

を励行し、湿度を下げましょう。発病した葉には褐色小斑点及び円形・楕円形の輪紋病斑が形成されます。やがて病斑中央部に穴が開き、病斑周辺は黄色になります(写真⑤)。また花蕾は黒色の小斑点を生じた後、病斑が拡大して黒褐色に腐敗します。病斑部には黒色のカビを密生します(写真⑥)。

表② ブロッコリーに登録のある殺菌剤

農薬名	適用病害		希釈倍数	使用時期	使用回数	特 性			他の適用病害
	黒すす病	黒腐病				予防	治療	浸透移行	
アミスター20フロアブル	●		2000倍	収穫3日前まで	3回以内	○	○	○	べと病
アフェットフロアブル	●		2000倍	収穫前日まで	3回以内	○	△	△	菌核病
パレード20フロアブル	●		2000倍	収穫前日まで	3回以内	○	△	△	菌核病
バリダシン液剤5		●	800倍	収穫前日まで	3回以内	○	○	○	—
カスミンボルドー		●	1000倍	収穫7日前まで	4回以内	○	○	○	—

る細菌病です。葉の周辺から病斑が現れ、病状が進むとV字または不整形を描くように葉全体

10月の分析経過について	
合計6点	
多成分一斉分析	ブロッコリー 1点
	水耕ミツバ 1点
	サラダ菜 1点
	秋ダイコン 1点
	イチゴ 1点
	越冬ナス 1点
残留農薬分析点数	※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。
土壌診断点数	合計12点



写真⑥ 黒腐病(株全体)



写真⑤ 黒腐病(葉の拡大)

に広がっていきます(写真⑤、⑥)。発生初期の場合は株を抜き取り、畑の外に出すか薬剤で防除を行ってください。

発芽には地温と土壌水分の確保が必要となるので、マルチの展開は早め(播種3日～1週間前まで)に行います。播種は地温が十分に確保されてから行いましょう(地温の目安は18～20℃、最低でも13～14℃)。できる限り、播種後1週間ほど安定した天気と十分な気温が続くとみられるときに播種を行いましょう。

発芽をそろえるポイント

主な病害虫と防除対策

●紋枯病
高温多湿、窒素過多、水はけの悪い圃場で発生します。そのため、適正施肥と排水対策をして

発芽をそろえるポイント

●アブラムシ
4月下旬～5月下旬に乾燥すると多発し、葉や茎を吸汁します。多発すると生育が阻害されるだけでなく、アブラムシの排泄物により、すす紋病になる恐れがあります。汚れによって商品価値が下がってしまうので、積極的な防除を行いましょう。

●アワノメイガ
4月上旬から発生し、6月中下旬が発生のピークになります。葉に卵を産み付けてふ化した後、葉を食害し、その後伸びてきた雄穂に侵入して内部を食い荒らします。雄穂から内部に食入された後だと農薬の効果が薄れ、時間がかかるので、早めの薬剤散布を心掛け、予防してください。出穂期から雄花開花終了後の防除を徹底的に行い、食害を防ぎましょう。



写真① サニーショコラライラと従来品種の比較

「Sunny Shokoraira」(みかど協和)が部会奨励品種になりました。中早生タイプ(86日)のイエロー種で、草丈は190cm前後、倒伏程度は並です。茎の地際部や雄穂が赤く(アントシアン)なるのが特徴です(写真①、②)。しなびの発生も遅く在圃性や棚持ちに優れます。



写真② サニーショコラライラの株

表① 主な病害虫と適用農薬表

商品名	適用病害虫	希釈倍率	使用回数	使用時期
チルト乳剤	すす紋病	1000倍	2回以内	収穫7日前まで
トリフミン水和剤	すす紋病	2000～4000倍	3回以内	収穫7日前まで
リゾレックス水和剤	紋枯病	1500倍	2回以内	収穫14日前まで
スミチオン乳剤	アワノメイガ	1000倍	4回以内	収穫7日前まで
プレバソフロアブル5	アワノメイガ	2000倍	3回以内	収穫前日まで
アフーム乳剤	オオタバコガ	1000～2000倍	2回以内	収穫3日前まで
カスケード乳剤	オオタバコガ	4000倍	2回以内	収穫7日前まで
アディオン乳剤	アブラムシ類	3000倍	4回以内	収穫14日前まで

農薬使用時には、必ずラベルの内容を確認しましょう！